

9 月会報 陸軍少飛平和祈念の会 (No15)

2019(令和元)年 9 月 1 日

(会報の郵送をメール送信に切替中です。PC のアドレスをご登録下さい。)

(1) <9 月定例会は 9 月 21 日です>

9 月定例会は、9 月 21 日(第三土曜日) 午前 10 時から 12 時、会場は、武蔵村山市市民ボランティア・市民活動センター 2 階録音室です。

(2) <新会員> 千葉県市川市在住の川口博さん、東京都青梅市在住の中部喜和さん、東京都国分寺市在住の松原昭治さんです。会費も頂きました。よろしくお願いします。新会員が増えています。多摩地域の他、23 区や千葉、埼玉等の方も増えています。活動に参加できない会員が多数ですが、関心を持っていただけることは重要です。会員の皆様には、少年飛行兵に関心のある知人に入会をお誘いくださるようお願いいたします。

(3) <「元少年飛行兵ビデオ証言第一集」を刊行しました> ビデオ収録した元少年飛行兵 6 人のお話を文字化したビデオ証言集ですが、2019(令和元)年 8 月 15 日を発行日として A4,150 頁で刊行しました。会員の皆様にはお手元に届いていると思います。青木武門会員から 5 万円の寄付を頂き、500 部作成できました。希望者には原価 500 円プラス 300 円の切手を送って頂き折り返し郵送しています。非会員の方で入会を希望される方には証言集と年会費千円の振込用紙を郵送しています。



(4) 下の写真は 8 月 31 日明治大学で開かれた死刑制度廃止市民会議の集会に



参加し「証言集」を売っている青木武門会員です。この日約 30 冊が売れました。また読売新聞の記事から 10 冊程メールで注文があり、事務局の瓦林さんが対応し郵送しています。その他講師養成の教材として 50 冊、戦争遺跡保存の熊本大会で 14 冊、会

員の個別販売も 10 部以上あり、トータルで既に百部以上販売出来ました。青木武門会員のご活躍に感謝です。「証言集」が多くの方に読まれ、元少年飛行兵のお話がいろいろな場で活かされることはうれしいことです。

「証言集」はまだありますので、会員の皆様で「証言集」の活用を図ったり「証言集」で新会員を募集する場合などは無料頒布も可能ですので事務局までご相談下さい。

(5) 「証言集」の反響

読売新聞 8 月 23 日の記事を読んで、購入を希望してきた方の中には、お父様が少飛 13 期で「百式司偵」（紀元 00 年製司令偵察機）のパイロットだったが、今は認知症になってしまった。昔のことは覚えていて語ることもあるという方がいました。やはりお父様が陸軍航空技術研究所にいらっしゃた方、少飛 14 期だったがこの 3 月に脳梗塞で倒れた、病床で読んであげたいという娘さんもいらっしゃいます。また昭島市の郷土資料館の学芸員の方、小学校の先生で授業の参考にしたいという方も。大阪市や兵庫県の方からも購入希望がありました。ネットで調べて、読売オンラインでヒットされたそうです。

(6) 戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会

8 月 24 日（土）から 8 月 26 日、戦争遺跡保存全国ネットワークが主催する「戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」が、熊本市の国際交流会館ホールで開かれ、青木武門会員が参加しました。

戦争遺跡保存ネットワークには、東京からは本会の他、東大和市の東大和・戦災発電所を保存する会、武蔵野市の武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会、八王子市の浅川地下壕の保存をすすめる会など 7 団体が登録しています。「戦争遺跡保存全国シンポジウム」は、毎年、各都県

で開催され、来年 2020（令和 2）年は、東京都東大和市で開催される予定です。引き受け団体は「東大和・戦災発電所を保存する会」です。全国から数百人の参加者が予定されており、シンポジウムの開催の他、周辺の戦争遺跡見学ツアーや分科会、宿泊の手配など、行政と協力して運営するよう進めていると聞いています。「東大和・戦災発電所を保存する会」は、戦争遺跡に関連する住民団体等に協力と参加を呼びかけており、本会も要請に応えることとしています。

